

第32回 お茶の水女子大学日本言語文化学会研究会プログラム

2006年6月24日(土) 午後1時30分開会

◎ポスター発表 午後2時～2時45分

「JSL中級教科書における「読む技能」の育成—学習項目と指導方法の分析—」

石井怜子(お茶の水女子大学大学院)・田中和佳子(放送大学大学院)

「多言語多文化共生日本語教育実習における実習生の学びのプロセス」

清水寿子(お茶の水女子大学大学院)

「陳述副詞「きっと」「必ず」の意味と習得に関する研究」

王冲(お茶の水女子大学大学院)

「第二言語としての日本語授受動詞の習得研究<研究構成>」

尹喜貞(お茶の水女子大学大学院)

「心理動詞構文における日韓対照研究—ES型の与格構文を中心とした名詞格に焦点を当てて—」

金眞伊(お茶の水女子大学大学院)

◎研究発表 午後3時～5時10分

<第1分科会> 司会：鈴木伸子

「朝・中・日3言語併用者の会話における一方進行コード・スイッチング」

金珍淑(エフキュービックアカデミー)

「対話の実現に向けて—対話的問題提起学習の実践から—」

半原芳子(海外技術者研修協会横浜研修センター)

「接触場面における3人のやり取りに見られる会話参加—イニシアチブ・レスポンス分析による小グループのコード化の試み—」

岩田夏穂(日本大学)

<第2分科会> 司会：小田珠生

「日本語教室の「セルフ内省」活動における学習プロセスの実態—内省の観点とレベルに焦点を当てて—」

金孝卿(東京大学大学院工学系研究科)

「リソースの欠如と過剰—学習者がリソースを活用するための前提条件の分析—」

富谷玲子(神奈川大学外国語学部)

「日本語学習者の文章構成における第1言語の影響—中国人母語話者の論説文を対象に—」

石橋玲子(茨城大学留学生センター)

<第3分科会> 司会：倉田芳弥

「「タイ語母語話者初級日本語学習者の「聞き返し」戦略—使用と有効性について」

テンチャローン・モンルタイ(お茶の水女子大学大学院)

「注意の分配が語用論的知識の習得に与える影響—対人関係調整の表現から—」

遠山千佳(立命館大学)

「相づちの中日対照研究—使用場所という観点から—」

楊晶(お茶の水女子大学)

<第4分科会> 司会：原田三千代

「中国における非母語話者日本語教師教育の質的变化—『大平学校』と北京日本学研究センターにおける実践から—」

篠崎摂子(国際交流基金日本語国際センター)曹大峰(北京日本学研究センター)

「外国人児童を対象とする母語を活用した教科学習支援の縦断的研究」

石上綾子(筑波大学留学生センター)

「海外日本語学習者にとっての日本人ホームステイの意義—フィリピンの事例からの考察—」

高崎三千代(国際交流基金日本語国際センター客員講師)

◆ 第31回日本言語文化学会研究会運営協力者(敬称略)

張瑜珊、平野美恵子、内田安伊子、白以然、孫愛維、穆紅、原田三千代、半原芳子、滑川恵理子、石井佐智子、宇津木奈美子、岡村郁子、菅野綾、金春梅、小浦方理恵、清水寿子、申愛子、TRUONG THUY LAN、宝田恵利、徳間望、野原ゆかり、ナイダン バヤルマ、園田智子、唐澤麻里、船戸はるな、趙英梅、岡嶋裕子、陳雪萍、村中雅子、蘇位静、洪玉苓、松尾麻里、遠藤宏子、陳明淑、黄怡君、朴貞玉、田川麻央、寺下裕久美、韓燕